

次期総合計画策定に向けた考え方①

第1回 資料4-1

策定に当たっては、市民の皆様からの御意見を十分に伺いながら進めることから、以下の方針を原則としつつ柔軟に対応

策定の基本的視点

- ① まちづくりの**目標と施策の基本方針**を明らかにする
- ② **社会経済状況**の変化を的確に捉える
- ③ **市民のまちづくりへの想い**を受け止め、行動力を引き出す
- ④ 地域の**資源**を活かし、津市の**魅力**を磨く
- ⑤ 市民にとって**見やすく、わかりやすいもの**にする

構成・期間

次期総合計画	基本構想	計画期間は特に定めない	まちづくりの基本的な理念。津市のめざすべき将来の姿やあるべき市民の暮らしなどを示す
	基本計画	10年間 (平成30～39年度)	基本構想に掲げるめざすべき都市像やあるべき市民の暮らしなどの実現に向けた施策、取組の方向性などを示す

次期総合計画策定に向けた考え方②

次期総合計画の特徴

①基本構想は計画期間を定めない

基本構想は、まちづくりの**基本的な理念**を示すものとし、その性格は**長期的にかわらないもの**として、**計画期間は定めない**

②基本計画の計画期間は10年間

合併後の津市のまちづくりの方向性を示した**新市まちづくり計画**に続く、**次のステージ**を示すものとして**計画期間を10年**とする

③総合計画審議会重点施策を審議

厳しい財政状況の下、**選択と集中の視点**を持った**戦略的な政策展開**をめざし、まちづくりの方向性などに加え、**重点的に取り組む施策**についても**総合計画審議会**で審議

④各分野からの積み上げ

各分野で取り組むべきことを組み合わせた先に、**めざすべき都市像**があると**考え**、**各分野のめざすべき姿**を**まとめたものが津市の将来像**